学校番号	1011

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	2	All aboard! English Communication Ⅱ be 4th Edition English Grammar 24

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校と英語コミュニケーションⅠで学習した内容を踏まえて、総合的に英語でのコミュニケーションを行うことをめざします。
・英語の語彙については、実際のコミュニケーションのなかでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。つねに「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
・音読は、外国語学習のなかでとても大切な練習のひとつです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人に伝わるように心がけましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・短い簡単なメッセージやアナウンスを聞いて、自分に必要な情報を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと発話される基本的な英文を１文聞き取ったあと、リピートすることができる。	・日常的な内容に関する具体的な事柄について書かれたものを読み、必要な情報を読み取ることができる。 ・待ち合わせの時間や場所といった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。	・日常的な事柄や自分のこと、身の回りのことについて、簡単なやりとりをすることができる。 ・基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることやできないことなど、日常的な事柄についてやりとりをすることができる。	・身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	・自分が必要とする事柄について、簡単な語句や表現を用いてメモやメッセージなどを書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を用いて、バースデーカードなど、メッセージカードを書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	L1 A Colorful Island L2 With the Beatles	聞くこと	a: ＜関係代名詞 what＞や＜助動詞＞、<比較表現>に注意しながら、本文の内容を聞き取る技能を身につけている。 b: 旅行・ラジオ番組についての概要や要点、必要な情報を聞き取ってとらえることができる。 c: 旅行・ラジオ番組について、注意しながら主体的に聞き取ることができる。	定期考査
		読むこと	a: 旅行・人物について、＜関係代名詞 what＞や＜助動詞＞、<比較表現>に注意して読む技能を身につけている。 b: 旅行・人物について、理解を深めるために内容を読み取り、概要や要点を把握することができる。 c: 旅行・人物について、理解を深めるために、内容を主体的に読み取り、概要や要点を把握することができる。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 自分の状態を伝える場面において、適切な語彙を用いて伝える技能を身につけている。 b: 旅行・人物について、基本的な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 c: 旅行・人物について、理解を深めるため、主体的に相手に伝えたり、聞いたりすることができる。	定期考査 （スピーキングテスト）
		書くこと	a: 旅行・人物について、与えられたフォーマットを用いて、英文を書く技能を身につけている。 b: 旅行・人物について、基本的な語句や文を用いて、詳しい考えを書いて伝えることができる。 c: 旅行・人物について、複数の段落を用いて、主体的に相手に伝えることができる。	定期考査
	中間考査			
	L3 Wild Men L4 Little Hero	聞くこと	a: 間接疑問文や受動態、it の用法に留意しながら、本文の内容を聞き取る技能を身につけている。 b: インタビューの内容について、要点や必要な情報を聞き取ることができる。 c: インタビューの内容について、主体的に聞き取って捉えようとしている。	定期考査
		読むこと	a: 間接疑問文や受動態、it の用法に留意しながら、本文を読む技能を身につけている。 b: 伝統行事や動物の生態について理解を深めるために、対話の概要や要点を理解することができる。 c: 伝統行事や動物の生態について、概要や要点を主体的に把握することができる。	定期考査
		話すこと （発表）	a: 身近な行事について、it を用いて与えられたフォーマットを用いて、英語で相手に伝える技能を身につけている。 b: 身近な行事について、it を用いて与えられたフォーマットを用いて、簡単な英語で伝えることができる。 c: ハチドリについて調べ、一人ひとり簡単な英文で発表を行う。点数表を用い、評価を行う。	定期考査
		書くこと	a: 自分が好きな行事や動物について、間接疑問文や受動態、it の用法を用いて、詳しく書く技能を身につけている。 b: 自分が好きな行事や動物について、基本的な語句や文を用いて、詳しい考えを書いて伝えることができる。 c: 自分が好きな行事や動物について、複数の段落を用いて、主体的に相手に伝えることができる。	定期考査
	期末考査			
2	L5 Special Makeup in	聞くこと	a: to 不定詞や if 節に注意しながら、本文の内容を聞き取ることができる。	定期考査

	Kabuki L6 Seeds for Future Generations		b: 歌舞伎や伝統野菜について、要点や必要な情報を聞き取って捉えることができている。 c: 歌舞伎や伝統野菜について、主体的に聞き取って捉えようとしている。	
		読むこと	a: 歌舞伎や伝統野菜について、to 不定詞や if 節に注意しながら本文を読むことができる。 b: 歌舞伎や伝統野菜について、理解を深めるために読み進め、要点や概要を把握することができる。 c: 歌舞伎や伝統野菜について、理解を深めるために、主体的に本文を読もうとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 歌舞伎や伝統野菜について、与えられたフォーマットを参考にして、to 不定詞や if 節を用いて、自分の考えを詳しく話して伝え合う技能を身に着けることができる。 b: 歌舞伎や伝統野菜について、基本的な文を用いて、自分の考えを詳しく話して伝えることができる。 c: 歌舞伎や伝統野菜について各自の端末を用いて調べ、プレゼンテーションを行う。英文を暗記させ、スピーキング能力も評価する。	定期考査 （スピーキングテスト）
		書くこと	a: 伝統文化について、適切な語彙を用いながら、与えられたフォーマットを参考にし、詳しく書くことができる。 b: 伝統文化について、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを詳しく書いて伝えることができる。 c: 伝統文化について、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを詳しく書くことができる。	定期考査
	中間考査			
	L7 Over the Wall L8 Inspiration from Nature	聞くこと	a: 壁画や自然科学について、関係副詞や知覚動詞に留意しながら、本文を聞くことができる。 b: 壁画や自然科学について、理解を深めるために、対話を聞き取り、概要や要点を把握することができる。 c: 壁画や自然科学について、理解を深めるために、主体的に対話を読み取り、概要や要点を把握することができる。	定期考査
		読むこと	a: 壁画や自然科学について、名詞の非制限用法/関係代名詞 what に留意しながら、本文を読むことができる。 b: 壁画や自然科学について、理解を深めるために、対話を読み取り、概要や要点を把握することができる。 c: 壁画や自然科学について、理解を深めるために、対話を聞き取り、主体的に概要や要点を把握しようとする。	定期考査
		話すこと （発表）	a: 壁画や自然科学について、関係副詞や知覚動詞を用いて、与えられたフォーマットを参考に、情報や考えを詳しく話して伝えることができる。 b: 壁画や自然科学について、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを詳しく話して伝えることができる。 c: 身近に使われている自然科学を紹介する英文を書かせる。その後発表させ、内容・発音など評価する。	定期考査
		書くこと	a: 自分の好きな絵について、関係副詞を用いて、与えられたフォーマットを参考に、情報や考えを詳しく書くことができる。 b: 自分の好きな絵について、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを詳しく書くことができる。 c: 自分の好きな絵について、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを詳しく書くことができる。	定期考査
	期末考査			
3	L9 The Bitter Truth behind Chocolate L10 Fighting Angel	聞くこと	a: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、内容を聞き取ることができる。 b: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、概要や要点を把握することができる。 c: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、主体的に内容を聞くことができる。	定期考査
		読むこと	a: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、内容を読むことができる。 b: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、概要や要点を読み取ることができる。 c: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、主体的に内容を把握することができる。	定期考査

		話すこと （発表）	a: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、内容を詳しく伝えることができる。 b: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、情報や考えを話して伝えることができる。 c: チョコレートをめぐる社会問題について書かせ、発表させる。発表の時間がなければ課題として端末で提出させる。	定期考査
		書くこと	a: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、簡単な要点を英語で書くことができる。 b: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、情報を整理して要点を書くことができる。 c: フェアトレードやナイチンゲールについて分詞構文や使役動詞に留意しながら、主体的に要点を書くことができる。	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度